

様々な訓練を繰り返しています

柏崎刈羽原子力発電所では、福島事故を踏まえ、より安全な発電所となるように様々な訓練を繰り返し実施しています。

緊急時演習を実施しました

- ◆ 3月18日に緊急時演習を実施し、所員約350名が参加しました。
- ◆ 今回の緊急時演習では、緊急事態が発生した際に発電所の対策要員がそれぞれの役割を認識し、これまでに配備した設備や機器を適切に取り扱い、対応することができるか等について、総合的な訓練を実施しました。
- ◆ 福島事故以降、今回のような総合的な訓練は、条件を様々に変えながら22回実施しています。
- ◆ 今後も、様々なケースを想定した訓練を繰り返してまいります。



様々な事態に対応できるように、今後も訓練を繰り返していきます

◆発電所では総合訓練以外にも、緊急時に様々な状況（夜間や降雪時など）を想定した訓練を、福島事故から今年2月末までに延べ約2,480回実施しています。



冷却水取水用ホースの展開訓練



津波等によるがれき除去訓練



電源車の操作訓練



ガスタービン発電機車の操作訓練



自衛消防隊の消火訓練



非常用弁操作窒素ガスボンベの輸送訓練



代替海水熱交換器車の配備訓練



柏崎市消防署との合同による負傷者移送訓練



衛星通信車の操作訓練



発電所安全対策の概要と訓練の動画は
発電所ホームページでご覧いただけます。
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>